

授 業 デ ザ イ ン シ ー ト

3年1組	教科	音 楽 科	授業者	窪田 真理子	本時	3/6
単元・教材名	題材 混声合唱の歓び (混声三部合唱「証」)			場所	音 楽 室	
指導目標	自分のパートの音程とリズムを正確につかみ、合唱することができる。					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主 な 学 習 活 動	場 時 間	共 通 実 践	指 導 上 の 留 意 点 ・ 形 成 的 評 価【●】		
導入	<p>1 前時の録音を鑑賞し、本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題について発表する。 ・ 発表されたものをまとめ全員で学習目標の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 学習目標 自分のパートの音程とリズムを正確につかんで歌おう。 </div>	6	① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を意識させるために前時の録音を聴かせる。 ・ 課題を確認させ、本時の取り組みを把握させるために助言する。 ・ 学習目標を理解させるために学習プリントに記入させる。 (学習プリントに記入) 		
展開	<p>2 パートごとに音程とリズムに気を付けながら練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パートリーダーが練習内容をホワイトボードで示す。 ・ 形態の工夫(ペアは音がとれている生徒と取れていない生徒を組み合わせるなど)を企画する。 ・ CDの活用(パートの範唱, ピアノ伴奏のみなどを使う) <p>3 お互いのパートの前で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーの判断で他のパートの人に聴いてもらう。 <p>4 お互いのパートで気付いたことを伝え合う。</p> <p>5 全部で合わせてみる。</p>	37	③ ④ ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各パートリーダーに自主的に練習を進めさせるために練習内容を示させる。 ・ 効果的に練習を進めるために形態の工夫について助言する。 ・ CDを効果的に活用させるために助言する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音程とリズムを正確につかんで歌えているかに着目させるために互いの演奏を聴かせる。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標が達成されているか、確認させるためにパートごとに話し合わせる。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伸び伸びとした演奏をさせるために助言する。 ・ 変容を確認させるために録音する。 		
終末	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ゴール 自分のパートの音程とリズムを正確につかんで歌えるようになる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの演奏を聴き、本時における変容を確認する。 ・ 自己評価を記入する。 <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	7	④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を振り返るために・工夫が必要な部分や新たに気付いた部分に印を付けられるように助言する。 ・ 自己評価を記入させる。【●】 		